

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題3	土岐市立総合病院のマイナンバーカードの保険証の利用率が約3割、低調であると書いてあるが、全国のデータではまだ5%に満たないなか、3割利用されており、すごいと思っている。この3割は多分突出した数字で、いい数字だと思うが、何か参考になることがあれば教えていただきたいと思う。	マイナンバーカードの保険証利用に向けて、市民の方へ利用勧奨を進めているということで、特段前向きにこうやっているというところはないが、3割ということで、まだまだ運用の方が進んでいないということを反省をしている。（土岐市）
2	報告事項2	資料4-2だが、坂下診療所に回復期76床と記載されているが、これどう捉えたらよいか。	これは、中津川市から坂下診療所としてご報告のあった数字をそのまま書いている。今ご報告をいただいているのが、令和7年には、回復期として76床というのを計画しているというお考えがあって記載がされたものと認識している。
3	報告事項2	これからの議論の中で、決まってくるということでよいか。	この時点時点でご報告いただいた数字を掲載したという形でご理解をいただければと思っている。中津川市も同じ思いだと思うので、そこは先ほど説明があったような形で今後議論が深められているものと考えている。
4	報告事項2	まさに地域の先生方が、使い方を考えて、システム作りをしてもらわないといけないので、大いに考えていただきたい。もっと有効的な医療の確保というのはいりうと思う。	
5	報告事項2	やはり国保の坂下の医療施設を、民間に移譲してうまく機能するかということは、非常に難しいと思う。ここでも中津川市でも医療過疎地がなかなかあるが、国保という名前のつく医療機関のたてつけからして、人的、経営的に難しいというところにあるものだと思う。そういうところを民間でやるということは、どうしてもリスクが高いところであり、このエリアの、軽い肺炎、圧迫骨折、あとは通院透析が困難になった方の入院など、19床を公的として有効に活用していく。それによってどのぐらいの公的資金を入れることができるかを考えていかなければならないと思う。その辺りのシミュレーションなども、いろいろ質問をさせていただいたが、回答がまったくなかったということが現実。新しい市長が決まったので、新しくまた論議をしながら、いい道を探っていきたいと思っている。皆さん方にいい報告ができるように頑張りたいと思う。	
6	報告事項2	何年前に、衆議院の委員会で、地域医療構想調整会議がないがしろにされているという発言がされている。そのないがしろにされているひとつの理由が、地域の医療をより良くするために、より理想に近いものにするために調整をしてるのにも関わらず、一部の人によって、そこが恣意的に歪められてしまっていると受けとめられる報告がある。これは一般論だが、これまでの調整会議で中津川市に対して質問がされているにもかかわらず、それに対する答えが市から返ってこない。これも1つの地域医療構想をないがしろにする形ではないかと思う。中津川市にとって、いろんな思惑があるかもしれないが、真摯に地域医療構想の意見を聞いていただき、やはり地域が望む形、特定の1ヶ所の望む形ではなく、市の全体のバランスを見ながら、少子高齢化、予算が逼迫する苦しい中で、生き残りというか、対策を考えていただけたらいいと思う。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
7	アドバイザー	<p>坂下診療所も医師が十分でないという状況で、大変ご苦労されている状況かと思う。どのように効率的に運用していくのか、お互いにないところを補いながら、うまいこと運用できないか、ということをぜひ考えていただきたいというお話が出ていたかと思う。なかなか難しい課題ではあるかと思うが、効率的な運用ということも、ぜひお考えいただきたい。ただ一方で、あんまり効率的になりすぎて、足りない部分が出てきたり、余裕がなくて、余裕がないために何かあったときに対応できないというのでも困るということもあって、ある程度余裕は必要なんだろうと思う。</p> <p>そういった意味で、今日で、すべてが終わったという話ではなく、これから先上手く行くように、議論をさらに深めていただくということをお願いをしたいと思っている。</p>	